

## 講義要項

授業科目		治療援助技術 I		担当者	末原 綾 内園 知美		
区分	単位数	時間数	授業形態	履修年次・前／後			
	1 単位	30 時間	講義・DVD・シミュレーション演習	2年次・前期・後期			
<b>授業目標</b>							
症状・生体機能管理技術、診察・検査・処置について理解し、援助技術を習得できる。与薬について理解し、援助技術を習得できる。							
単元名	目標	内容	時間	単位	授業方法		
1. 症状・生体機能管理技術	1. 検体検査と生体情報のモニタリングについて理解し、援助技術を習得できる。	1. 症状・生体機能管理技術の基礎知識 2. 検体検査 1) 血液検査 (血液の取り扱いと採血の実際) 2) 尿検査 (尿の取り扱いと尿検査の実際) 便検査 3) 生体情報のモニタリング 心電図モニター S p O <sub>2</sub> モニター	6		講義 DVD シミュレーション演習		
2. 診察・検査・処置における技術	1. 医師や検査技師が行う診察・検査・処置の看護について理解し、必要な技術を習得できる	1. 診察の介助 2. 検査・処置の介助 1) X線検査 (放射線被ばく防止) 2) CT 3) MRI 4) 内視鏡検査 5) 超音波検査 6) 心電図検査 (12誘導心電図) 7) 肺機能検査 8) 核医学検査 9) 穿刺 (胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰椎穿刺骨髄穿刺)	8		講義 DVD シミュレーション演習		
3. 与薬の技術	1. 与薬に必要な援助技術を習得できる。	1. 与薬の基礎知識 1) 薬物の基本的性質 2) 看護師の役割 正しい予薬 薬の管理 (毒薬、劇薬、血液製剤、抗悪性腫瘍薬) 2. 経口与薬・口腔内与薬 3. 点眼 4. 点鼻 5. 経皮的与薬 (外用薬) 6. 直腸内与薬 (坐薬) 7. 注射 1) 注射の基礎知識 2) 注射の実施法 皮下注射、皮内注射、筋肉注射 静脈内注射 (静脈路確保、点滴静脈内注射の管理、輸液ポンプ・シリンジポンプの操作・管理) 8. 輸血管理	15		講義 DVD 演習		
		修得試験	1	1			

参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(3), 基礎看護技術 II, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(4)、臨床看護総論, 医学書院. 3. 成人看護技術, 南江堂. 4. 看護技術プラクティス第3版, 学研メディカル秀潤社. 5. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院.
評価	1. 単位修得試験 検査・処置 50点、与薬・注射 50点 2. 出席状況、授業態度
備考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。